

「CPAM を中心とした新基準に基づく先天性嚢胞性肺疾患の分類の再検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2005年1月1日～2025年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター肝胆膵外科・小児外科で外科手術を受けられた先天性嚢胞性肺疾患の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

先天性嚢胞性肺疾患の患者さんの適切な治療選択の指針を得ることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年9月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

対象患者さんへの治療の際に生じた過去の検査データおよび診療記録等を用います。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科において、研究責任者である井上成一郎が厳重に管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんとその母親の妊娠中の診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

井上 成一郎（研究責任者）

川口 皓平、永田 真莉乃、牟田 裕紀、竹内 優太、林 泰輔、百瀬 修二、小高 明雄、市川 将平（研究事務担当）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等に加えて、母親のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科 井上 成一郎

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 埼玉医科大学総合医療センター

電話：049-228-3876（土日祝日を除く 8：30-17：00）

- 研究課題名：CPAM を中心とした新基準に基づく先天性嚢胞性肺疾患の分類の再検討
- 研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科 井上 成一郎
- 事務局：肝胆膵外科・小児外科(メディカルアシスタント) 市川 将平